



# 「患者必携 地域療養情報 おきなわがんサポートハンドブック第2版」のご案内

「おきなわがんサポートハンドブック第2版」では、がんと診断された患者さんが活用できる経済的、社会的な制度、相談窓口やお住まいの地域の支えあいの場などの情報を掲載しています。こちらでは、がんサポートハンドブックの一部を抜粋してご紹介しています。

## セカンドオピニオンについて知りたい P20~22



「診断や治療法を理解し納得して選ぶために」では、セカンドオピニオンについての説明、受診方法、費用、実施施設一覧についてご紹介しています。セカンドオピニオンとは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第二の意見」を求めることです。



## がんのことについて相談したい P23~25

がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、不安でたまらない時、一緒に考え、情報をさがすお手伝いをするがん相談支援センターの連絡先一覧を掲載しています。がん相談支援センターは、その病院にかかっているなくてもどなたでも相談することができます。



## 同じ病気の方の話をきいてみたい P26~31

各患者会、がん患者サロン等の概要や連絡先一覧を掲載しています。患者会では、同じような経験をした患者さんや、ご家族などがいろいろな人たちと出会い、関わることで、自分らしい生き方を探すヒントが得られるかもしれません。



## 医療費や経済的なことが心配 P42~53

主にがんに係る医療費の負担を軽くする仕組みや支援制度、窓口についてご紹介しています。医療費の自己負担分が設けられているほか、休職している間に生活を支える制度など様々な助成・支援の仕組みがあります。



よりよいがん情報の提供を目指すため、「沖縄サポートハンドブック」についてのアンケート（ピンク色の用紙）にもご協力お願いいたします。アンケートは2階シエントと各病棟の回収ボックスにて、回収を行っています。



## 沖縄県 地域の療養情報

# おきなわがんサポートハンドブックとは？



- 医療費のことが心配・・・
- 生活費など経済的なことが心配・・・
- 自宅での療養・生活が不安・・・
- 同じ思いの患者さんとお話したい・・・

「おきなわがんサポートハンドブック（地域の療養情報）」は、患者さんの抱えるこうした心配や不安な思いに寄り添い、支えることの助けとなることを目指して、つくられました。

このサポートハンドブックは、“がん”と診断された患者さんが活用できる経済的、社会的な制度、相談窓口やお住まいの地域の支え合いの場の情報などを、「信頼できる情報で、わかりやすく、役に立つもの」としてまとめたもので、以下の様な内容が掲載されています。

### 目次

#### 第1部 病気や治療について

1. がんと診断を告げられたとき
  - (1) がん治療・療養の過程（ライフコース）と主な悩みや疑問
  - (2) がんの疑いがあると言われてから治療が終わるまでに確認しておくことと良いリスト
  - (3) がんに関する悩みや不安、つらさについて
  - (4) 沖縄県がん医療体制について
  - (5) がん診療連携拠点病院および支援病院
  - (6) がん診療を行っている専門医療機関について
  - (7) 地域連携クリティカルパスについて
  - (8) インターネットで情報をさがす
2. 治療法を選び、納得して治療を受けたいとき
  - (1) セカンドオピニオン
  - (2) セカンドオピニオン実施施設

#### 第2部 よりよい療養生活をおくるために

1. がんのことについて相談したい
  - (1) がん相談支援センターとは
  - (2) 沖縄県地域統括相談支援センター
  - (3) 沖縄県医療安全相談支援センター
2. 同じ病気の方の話を聞いてみたい
  - (1) 患者会
  - (2) 患者サロン
3. 痛さやつらさを和らげて、あなたらしく過ごすため
  - (1) 緩和ケア外来について
  - (2) 緩和ケア病棟（ホスピス）について
  - (3) がんの終末期医療を担う医療機関について
  - (4) がん終末期患者の在宅療養についての相談

#### 4. 自宅での療養を続けたい

- (1) 訪問診療について（在宅療養新診療所）
- (2) 訪問看護について（訪問看護ステーション）
- (3) 介護保険について
- (4) 介護用品のレンタルについて
- (5) 高齢者に関する相談窓口
- (6) 介護タクシー
- (7) ファミリーサポートセンター
- (8) ファミリーハウス

#### 第3部 お金のことについて

1. 高額な医療費の負担を減らしたい
  - (1) 高額療養費制度及び関連で利用できる制度
  - (2) 確定申告による医療費などの控除
  - (3) 介護サービスを受けている場合に利用できる制度
2. 経済的な負担を減らしたい
  - (1) 傷病手当金
  - (2) ひとり親家庭等医療助成制度
  - (3) 小児慢性特定疾患医療費助成制度
  - (4) 一部負担金の免税制度
  - (5) 生活保護
  - (6) 生活福祉資金貸付制度
3. がんによる障害をもっており、経済的な負担を減らしたい
  - (1) 障害年金
  - (2) 障害手当金
  - (3) 身体障害者手帳

#### 第4部

各種問い合わせ一覧

**がんサポートハンドブックをご希望の方は、シエントまたはがんセンターでも配布しています。**

尚、本冊子は「[沖縄県がん診療連携協議会ホームページ](http://www.okican.jp)」よりダウンロードも可能です。

うちなあ〜がんネットがんじゅう <http://www.okican.jp>

「おきなわがんサポートハンドブック」についてのお問い合わせ先：

琉球大学医学部附属病院がんセンター TEL:098-895-1368 FAX:098-895-1497

Mail: [mail@ryukyucc.jp](mailto:mail@ryukyucc.jp)

がんサポートハンドブック第2版 配布先

	施設名	箇所数	配布部数	(前回比)	計
県	県庁医務課	1	3,880		3880
	各保健所	6	100	50	600
拠点病院	琉大病院	1	3,000		3000
	那覇市立病院	1	1,000	△500	1000
	中部病院	1	1,000	△500	1000
支援病院等	北部地区医師会病院	1	300	△200	300
	宮古病院	1	300	△200	300
	八重山病院	1	300	△200	300
	標準的がん診療機関	83	10	△40	830
	専門的がん診療機関	18	200	△50	3600
市町村	市町村	41	10	5	410
	地域包括支援センター	41	1		41
その他	沖縄県看護協会	1	5	4	5
	県医師会/地区医師会	8	10	9	80
	県歯科医師会	1	5	4	5
	ファミリーサポートセンター	14	1		14
	その他の診療所	390	1		390
	患者会	22	30	20	660
	患者会連合会	1	200	200	200
	介護老人保健施設	44	1		44
	年金事務所	6	1		6
	薬局	145	10	10	1450
	公立・私立図書館	46	20	新	920
	居宅介護支援事業所	383	1	新	383
	訪問看護ステーション	46	1	新	46
	小学校	280	1	新	280
	中学校	161	1	新	161
	特別養護学校	16	1	新	16
	高等学校	65	1	新	65
	大学・短期大学・高等専門学校	9	1	新	9
	看護専門学校	5	1	新	5
	計		1,839		

無料で差し上げます！

# サポートブック



使える情報満載！

## がんのことについて 相談したい

がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、情報を探すお手伝いをするがん相談支援センターの連絡先一覧を掲載しています。



## 同じ病気の人 話をきいてみたい



同じような経験をした患者さんや、ご家族などが結成する各患者会やサロンなどの一覧を掲載しています。自分らしい生き方を探すヒントが得られるかもしれません。

## 医療費のことが 心配です



主にがんに係る医療費の負担を軽くする仕組みや支援制度、窓口について紹介します。医療費の自己負担分が設けられているほか、休職している間に生活を支える制度など様々な助成・支援の仕組みをわかりやすく説明しています。

## セカンドオピニオン について知りたい

セカンドオピニオンの受診方法、費用、実施施設一覧についてご紹介しています。セカンドオピニオンとは患者さんが納得のいく治療法を選択するために「第二の意見」を求めることです。



冊子をご希望の方は、  
2F シエントまたは3F がんセンター  
でお配りしています。

くわしいお問い合わせは、

琉球大学医学部附属病院  
がんセンター

TEL:098-895-1368

FAX:098-895-1497



この冊子は「[沖縄県がん診療連携協議会HP](http://www.okican.jp)」より  
ダウンロードも可能です。

<http://www.okican.jp>